

**製品名: CD276 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM86113**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:500
分子量	57.2kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CD276
別名	CD276 antigen, 4Ig-B7-H3, B7 homolog 3, B7-H3, Costimulatory molecule, CD276, CD276, B7H3
遺伝子 ID	80381.0
SwissProt ID	Q5ZPR3
免疫原	この CD276 抗体は、ヒト CD276 のヒト領域からの組み換えタンパク質で免疫化されたマウスから生成されます。

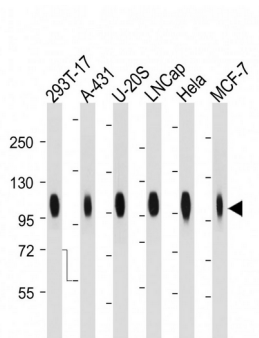
**背景**

T細胞を介した免疫応答の調節に関与している可能性がある。ナチュラルキラーを介した細胞溶解を阻害することで腫瘍細胞を保護する役割を果たす可能性があるほか、神経芽腫細胞の検出マーカーとしても機能する可能性がある。急性および慢性の移植拒絶反応の発現や粘膜表面におけるリンパ球活動の調節に関与している可能性がある。また、妊娠期間を通じて胎盤と胎児に適切な免疫環境を提供する上で重要な役割を果たす可能性がある。アイソフォーム1とアイソフォーム2はどちらも、CD4 T細胞応答を調節する能力において重複しているように見える。アイソフォーム2は、細胞傷害性T細胞の誘導を促進し、T細胞受容体シグナル伝達の存在下でインターフェロンガンマ産生を選択的に刺激することが示されている。

## 研究分野

-

## 画像データ



全レーン：抗CD276抗体（1:4000希釈）